

# 大川市議会第2回定例会会議録

平成28年6月24日大川市議会議場に出席した議員及び付議事件の説明のため出席した者の氏名並びに付議事件の内容は次のとおりである。

## 1. 出席議員

1番	平	木	一	朗	10番	池	末	秀	夫
2番	古	賀	龍	彦	11番	水	落	常	志
3番	宮	崎	稔	子	12番	川	野	栄	美子
4番	龍		誠	一	13番	永	島		守
5番	馬	淵	清	博	14番	箴	島	か	おる
6番	石	橋	忠	敏	15番	岡		秀	昭
7番	石	橋	正	毫	16番	内	藤	栄	治
8番	遠	藤	博	昭	17番	福	永		寛
9番	吉	川	一	寿					

## 欠席議員

なし

## 2. 地方自治法第121条の規定により出席した市吏員

市		長	鳩	山	二	郎
副	市	長	酒	見	隆	司
教	育	長	記	伊	哲	也
会	計	管	理	者		
(兼)	会	計	課	長	堤	稔彦
消	防	長				
(兼)	総	務	課	長	持	木芳己
人	事	秘	書	課	長	馬
						淵嘉臣
総	務	課	長			
(併)	選挙	管理	委員会	事務局	長	石
						橋英治

企 画 課 長	橋 本 浩 一
農 業 水 産 課 長 (併) 農 業 委 員 会 事 務 局 長	柿 添 量 之
上 下 水 道 課 長	田 中 嘉 親
学 校 教 育 課 長	下 川 慎 司
監 査 事 務 局 長	本 村 和 也

3. 本議会の書記は次のとおりである。

議 会 事 務 局 長	木 下 剛
議 会 事 務 局 書 記	吉 田 嘉 久
議 会 事 務 局 書 記	和 田 孝 紀
議 会 事 務 局 書 記	宮 崎 朱 美

4. 付議事件

- 1. 委 員 長 報 告
- 1. 質 疑 ・ 討 論 ・ 採 決
- 1. 会 議 録 署 名 議 員 の 指 名
- 1. 閉 会 の 宣 告

---

午前9時30分 開議

○議長（古賀龍彦君）

皆さんおはようございます。各位の御参集、感謝申し上げます。

会議に入ります前に、鳩山二郎大川市長の御尊父であります鳩山邦夫衆議院議員が先日御逝去なされました。大川市議会といたしましても謹んで哀悼の意を表します。

では、出席議員は定足数に達しておりますので、ただいまから本日の会議を開きます。

まず、総務委員会に付託しておりました議案第39号 平成28年度大川市一般会計補正予算を議題といたします。

これから総務委員会における審査の経過並びに結果について、総務委員長の報告を求めま

す。総務委員長、永島守君。

○総務委員長（永島 守君）（登壇）

皆さんおはようございます。先ほど議長のほうから御報告ございました。このたびは本当に突然の訃報に直面をいたしまして、私も本当に愕然としたようなわけでございます。市長のお父上は、国家・国民のために、友愛を中心に一生懸命国政に御尽力をなされてまいりました。そういう中におきまして、今回の急死の訃報はまことに残念なことでございます。これまでいろんな形でお父上ともお会いいたしておりましたけれども、市長の心中もいかななものかとお察しを申し上げます。心からお悔やみ申し上げながら、今回こうして、私、お役目でございます総務委員会の審査報告について、御報告を申し上げさせていただきます。

私は総務委員長といたしまして、本委員会に付託をされました議案第39号 平成28年度大川市一般会計補正予算につきまして、本委員会における審査の経過並びに結果を御報告申し上げます。

説明によりますと、本案は歳入歳出予算及び地方債の補正であり、その概要は次のとおりでございます。

総務費につきましては、熊本地震に対する支援として、復興支援家具購入費5,000千円、義援金5,000千円が、民生費につきましては、公的介護施設等整備補助金26,250千円、保育所等業務効率化推進事業費補助金2,300千円が計上なされております。

商工費につきましては、国の地方創生推進交付金を活用したインテリア産業販売促進戦略構築事業費補助金75,000千円が、土木費につきましては、市道郷原一木線改築等事業費17,000千円が計上なされております。教育費につきましては、町内公民館施設整備事業費補助金16,500千円、大川中央公園テニスコート改修事業費86,300千円が計上なされております。

以上により、今回の補正総額は233,350千円となったところでございますが、これらの財源といたしましては、歳出に見合う国庫支出金、県支出金、繰入金、諸収入及び市債をもって充当するとのことございました。

次に、地方債の補正につきましては、保健体育施設整備事業の追加及び道路橋りょう整備事業の変更を伴うものであります。

委員会では、まず、10款7項2目体育施設管理運営費の大川中央公園テニスコート改修工事設計業務委託料及び大川中央公園テニスコート改修工事費の財源の内訳と改修内容についてただしましたところ、全体の工事費は86,300千円で、スポーツ振興くじ助成金45,926千円、

さらに地方債36,300千円、一般財源4,074千円となっている旨の説明を受けました。改修内容につきましては、経年劣化に伴うテニスコート4面の砂入り人工芝への改修及び夜間照明設備のLED電球への改修となっている旨の答弁がなされたところでございます。

委員会からは、テニス人口等、実態調査もしていない状況の中に事業することに疑問が残るとただしましたところ、今回のテニスコートの改修については、スポーツ振興くじ助成金の交付内定があり、大川市体育協会よりも要望が上がっていたため、予算を計上した旨の答弁がなされたところでございます。

また、委員からは、テニスコート整備の必要性も認識しているが、市民生活に密着した道路、クリーク等、住環境整備事業への予算編成に配慮していただきたい旨の要望が開陳されたところでもございます。

一方、委員からは、以前よりテニス愛好者の方からコート整備については要望がなされており、工事費の高い安いは別にして、テニス愛好者の方々には健康や生きがいをづくりのためにテニスをされている方が多いことも承知している。リニューアルすることは大川市の宣伝にもなり、市民からも喜ばれるのではないかとの意見が開陳されたところでございます。

さらに委員からは、国民、市民の血税を使って整備する以上は、周知いただき、本市のスポーツ振興に貢献されるとともに、すばらしい評価をいただけるように努めてもらいたい旨の意見、要望が開陳されたところでもございます。

次に、2款1項14目諸費の熊本地震復興支援家具購入費の内容及び使途についてただしましたところ、大川市ならではのものとして、被災地である熊本の小・中学校に椅子と机などを送りたい旨の答弁がなされたわけでございます。

委員からは、椅子、机の数はどのくらい考えているのかただしましたところ、今後、熊本県教育委員会との協議の中で数量等については決まっていくことだというような旨の答弁がなされたわけでございます。

さらに委員からは、ただ椅子、机を送るだけではなく、材料が県産材であることや温かい言葉を添えて送れば、さらに大川市の震災に対する復興への思いを伝えることができるのではないかとの意見が開陳されたわけでもございます。

委員会では、その他詳細な審査を行い、採決の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決した次第でございます。

以上で私の報告を終わらせていただきます。ありがとうございました。

○議長（古賀龍彦君）

総務委員長の報告は終わりました。

これから総務委員長の報告に対し、質疑を行います。質疑を希望される方は、この際、御通告願います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

質疑の通告はありませんので、次に進みます。

次に、討論を希望される方は、この際、御通告願います。ほかにございますか。では、6番。

○6番（石橋忠敏君）（登壇）

皆さんおはようございます。議席番号6番石橋です。

先ほど総務委員長の説明の中のテニスコートの件について、私はこの事業に関しては本当に大川市行政として取り組むべき事業かなということではいろいろ考えていますけど、なおかつその予算配分の内容を聞くと、スポーツ振興の助成金が半分、あとの半分については起債という形での借入金、なおかつ本市の持ち出し金、そういう中身を聞くと、本当に今の大川市にとって、テニスコートの事業に対して借入金まで考えたというか、借入金まで持ち込んでこういう事業をやるべきかどうかということについて、私も私なりにこのテニスコートの件については使用者の方とか、いろんな方たちの意見を聞きましたけど、まず、行政の説明は、確かにスポーツ振興とか、健康のためとか、地元からの要望があっているとか、ありきたりのことを言っていますけど、現実、大川市内、私もいろんな方と知り合いがあるんですけど、テニスをやっているという方はほぼいません。なぜかという、このテニスコートというのは、あるかないかわからんけど、多分、市外の方が大多数なんです、これは。というのは、お互いが、地元でやれない方々たちが交互にテニスを利用されている。例えば、大川市のテニスコートについては筑後市とか、久留米市とか、そういう方たちのテニス愛好者の方たちが大多数使われているんじゃないかなと思います。それはなぜかという、たまに家族でテニスでも行こうかなといっても、まずできません。なぜかという、2か月間の先行予約ですから、先に2か月前から予約を受け付けている関係で、全てが予約でいっぱいなんです。大川市民がいざやろうかといったら、ほぼやれないような状態の中で、今言うように、本当に大川市にとってこのテニスコートの改修というのが約1億円弱の金を使ってやるべきか。もしくは私は委員長の説明にありましたように、地元に対して、もっとやるべき事業が

あるんじゃないかなと。それに露骨に言えば、もうスポーツ振興40,000千円もらえるから、それに対して借入金までつけて、借入金まで組み込んでこの事業をやるぐらいなら、私はこのスポーツ振興の助成金は要らない。逆に40,000千円、50,000千円使う予算を大川市の地元のことにですね——助成金をあえて使う必要なく、地元のために本市の予算は使うべきだと思いますし、この起債という形も結局は大川市民の負担にかかってくる。そこまでしてやるべき事業じゃないと私は思っていますので——ちょっと私、体調がおかしいのでこの辺でちょっと……。そういう意向ですね、この件については絶対反対をしようと思っておりますので。

皆さんもよく考えてください。大川市にテニスコートをするために1億円からの予算を使ってやろうなんてするんやったら、もっと皆さんが考えてあるように、地元からはたくさん要望が上がっています。しかし、その予算に対してはですね、地元の予算に対しては全てに対して近いぐらい予算がないないの状況の今の中で、借金までしてやるべき事業じゃないと思っておりますので、この辺ちょっと——ちょっとこの辺でやめさせてください、ちょっと済みません。

#### ○議長（古賀龍彦君）

これをもって討論を終結し、これから採決いたします。

議案第39号 平成28年度大川市一般会計補正予算を採決いたします。

本案を総務委員長報告のとおり、すなわち原案のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

起立多数と認めます。よって、本案は総務委員長報告のとおり可決されました。

次に、文教厚生委員会に付託しておりました議案第40号 平成28年度大川市国民健康保険事業特別会計補正予算を議題といたします。

これから文教厚生委員会における審査の経過並びに結果について、文教厚生委員長の報告を求めます。文教厚生委員長、箆島かおる君。

#### ○文教厚生委員長（箆島かおる君）（登壇）

皆様おはようございます。先ほど総務委員長も御挨拶されましたけれども、鳩山邦夫様の御逝去に対し、心から哀悼の意を表します。

なお、鳩山市長におかれましては、御心痛いかばかりかとお察し申し上げますとともに、

従前にも増して大川市の市政に御尽力をいただきますようお願い申し上げます。

それでは、付託案件の報告を申し上げます。

私は文教厚生委員長といたしまして、本委員会に付託されました議案第40号 平成28年度大川市国民健康保険事業特別会計補正予算につきまして、本委員会における審査の経過並びに結果を御報告申し上げます。

今回の補正は、国保基幹システムの改修業務委託料について、1,188千円を補正し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ5,863,188千円とするものであります。これが財源といたしましては、国庫支出金をもって充当するとのことであります。

説明によりますと、持続可能な国民健康保険制度を構築するため、国民健康保険法等の一部改正がなされ、現在、国民健康保険の保険者は市町村であるが、平成30年度からは都道府県が保険者に加わり、財政運営の責任主体となる。今後の効率的な国民健康保険事務の執行のためには、市町村事務処理標準システムの導入が必要となり、今回、国の補助事業によりシステム改修を行うとのことであります。

委員会では、今後の国民健康保険税についてただしたところ、現在、大川市では、平等割、均等割、所得割という3方式で国民健康保険税の課税を行っているが、県内の他の市町村においては、資産税割も含めて課税しているところ、また、平等割や均等割の額、所得割の税率も各市町村により異なっている。これらの標準的な取り扱いについて、市町村、県、国保連合会で話し合いが行われており、平成29年度までには整理がなされ、平成30年度には新たな国保制度がスタートする予定である旨の答弁がなされました。

委員会では、その他詳細な審査を行い、採決の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

以上で私の報告を終わります。

#### ○議長（古賀龍彦君）

文教厚生委員長の報告は終わりました。

これから文教厚生委員長の報告に対し、質疑を行います。質疑を希望される方は、この際、御通告願います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

質疑の通告はありませんので、次に進みます。

次に、討論を希望される方は、この際、御通告願います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでございますので、これから採決いたします。

議案第40号 平成28年度大川市国民健康保険事業特別会計補正予算を採決いたします。

本案を文教厚生委員長報告のとおり、すなわち原案のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

起立全員と認めます。よって、本案は文教厚生委員長報告のとおり可決されました。

次に、会議録署名議員を指名いたします。

12番川野栄美子君、13番永島守君、以上2人を指名いたします。

以上で本定例会の議事は全て終了いたしました。

なお、ここで市長から発言の申し出がっておりますので、この際、お願いいたします。  
市長。

○市長（鳩山二郎君）

ただいま議長のお許しをいただきましたので、一言御挨拶を申し上げます。

先ほど発言をされた議員の先生方から、このたびの私の父の死について温かいお言葉をいただきました。心から感謝を申し上げます。

今議会に提案いたしました議案は8件でしたが、議員の皆様には慎重に御審議の上、御議決いただき、まことにありがとうございました。

また、審議の過程で皆様からいただきました貴重な御意見や御助言などにつきましては十分に尊重し、さらなる住民福祉の向上に向け、鋭意努力をさせていただきます。

引き続き、議員各位の御理解と御協力をお願い申し上げ、簡単ではございますけれども、閉会の御挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。

○議長（古賀龍彦君）

これにて平成28年第2回大川市議会定例会を閉会いたします。

午前9時50分 閉会



以上、会議の次第は、その内容の正確であることを証するため、ここに署名する。

大川市議会議長 古 賀 龍 彦

大川市議会議員 川 野 栄美子

大川市議会議員 永 島 守